

令和4年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	<p>令和4年9月8日（木）10時00分～10時30分</p> <p>令和4年12月20日（火）13時00分～13時15分</p>
出席者	<p>市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局財務課長、建築住宅局長、建築住宅副局長、建築住宅局担当部長、建築住宅局政策課長※</p> <p>※…9/8のみ</p>
議題	<p>空き家空き地対策</p>
提案概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築家との協働による空き家活用支援として新たに補助上限額200万円の支援メニューを追加する。 ・ 指導後未改善の管理不全空き家等の所有者などへも支援対象を広げ、空き家おこし協力隊の活動領域を拡大していく。 ・ 民間主導で持続的に空き家の市場流通が促進される仕組みを作る。 ・ 地域利用バンクで所有者と活用団体をマッチングするとともに、片付けや改修など活用に向けた支援を行う。 ・ 老朽空家等解体補助制度について、予算規模を700戸から1,000戸に拡充する。 ・ 将来的な影響も加味した勧告基準に見直し指導を強化するとともに、所有者に対する補助制度等の支援も拡充し、自主改善を促す。 ・ 所有者不明案件について、民法改正により制度化される所有者不明土地・建物管理制度も含め、財産管理制度を積極的に活用する。 ・ 各区役所において実施している初動対応事務について、外部委託を積極的に取り入れることで効率的な空き家空き地対策を実施する。
会議結果 (主な意見等を含む)	<p>全体の方向性については了。</p> <p>将来の空き家数の増大を見据え、現在の取り組みを拡充しながら、新たに事業者による空き家活用を支援するなど、空き家空き地対策のさらなる推進について、局からの提案をもとに議論した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築家との協働による空き家活用促進事業の新メニューについては、建築家の関与を要件とすることを検討する。 ・ 空き家おこし協力隊の派遣にあたっては、電力データ等に基づき、空き家を調査した上でピンポイントに働きかけていく。 ・ 現状、空き家調査ビジネスに取り組んでいる企業は首都圏が多い。

	<p>初期費用等の支援により、市内市場への参入を促す。</p> <ul style="list-style-type: none">・老朽空き家等解体補助制度の実績は良い。目標戸数の達成に向けて、一層の推進を図る。・空き家通報への対応は純粋な空き家相談以外のものも多く、現在と同様に広聴的な対応ができる区役所が窓口となり初期相談を受けるのが最適。
--	--